

# ミコソ

1998 . 1 . 20 No. 68

バングラデシュと  
手をつなぐ会

あけましておめでどう  
ございませす  
今年もバングラデシュの子  
どもたちのため、村人のた  
めに、共に働きたいと思ひ  
ます。  
皆さまのご協力をよろしく  
お願いいたします。



す。(くわしいことはページをお読み下さい) どうぞまわりの方  
にもよびかけて募金をおねがいします。

## 母子保健センターがあぶない！ 募金をおねがいします

みなさんのご協力でできた「母子保健センター」の運営がむず  
かしくなっています。95年にできてからたくさんの母親と子どもたち  
のいのちが救われています。秋に研修に来たベラさんの話をきいてび  
っくりしたほどノルジャマンさんもナースたちも朝から晩まで働いています。

日本からの送金があれば村人たち子どもたちのいのちにかかわるので

**カラムディ村へ行って来ました**

21日の夕方、バンコクで一泊し、有名な Watpo temple を初め、仏教に包まれた市内を観光することができ、象が市内を歩いている姿が私たちにびっくりさせてくれました。22日昼、ダッカに入り、買い物を済ませ、翌日昼食後、ダッカを出発、夜10時過ぎ村に到着しました。24日と25日だけ村に滞在し、シヨンダニが用意してくれたさまざまなプログラムに参加しました。日本ではめったに見られない砂糖工場や煉瓦工場なども見学しました。訪問看護(巡回検診)や中学生による歌や演劇を交えた歓迎を受けました。

今年の訪問の大きな特徴は、村での2日目の午後、村人による送別会。今まで、歓迎会や送別会は部屋の中で行い、参加する人も限られました。しかし今年は、天気や気温に恵まれ、母子保健センターの庭で輪になって送別会が行われました。司会もなく、話の内容も様々。長老から若者まで誰もが自由に、お互いに疑問に思ったこと、自分達について日本人の思ったこと、どんどん飛び込んできました。なかなか時間が足りなく、来年に回そうと言って終わりにしました。

私は日本人と別行動を取ったこともありました。中学校の運営委員会や先生達と話をしました。過去半年間で欠席者数がそれほど減っていないけれども、先生達やシヨンダニによる生徒の家庭訪問が生徒自身や親に少し考えさせているように感じたと彼らは言いました。また昨年現地訪問時、耳にした教科書の問題を解決する方法を考え、すでに村人や先生達は約7000タカを集めました。5・6人の教科書を買えるでしょう。

ジャバニ小学校の先生や地域の人々と話し合い、全クラス同時に始まり、欠席者数を減らすためにみんな一体となって努力するとのことでした。また、中学校に入学の際、納入金がかかりかかるので困っている親がいると聞いて、小学校5年生の時から積立金制度を導入する提案もありました。実現は？具体的なことは先生達から文章で送ってくるそうです。村の高校生や大学生たちとの話の中で、自分たちが小中学校に欠席者を出さないように村をいくつかの地域に分け、働くと言うことが主でした。

例年と比べて、村は少し寒かったけれども、幸い今年は病人もなく、26日の朝、菜の花や緑で包まれた村を後にしました。

(ラフマン・モクレスール)

海外旅行が好きで、20ヶ国くらいまわった。今回のバングラ訪問は、ラフマン先生の故郷を見たかったのと、ひょんなことから学資援助するようになった大学生K君に会うことが目的。いいところだけ見てまわる観光旅行と違って、村での交流は本当に心温まるものだった。K君の家を訪ねた時の精一杯のおもてなしは、一生忘れられない思い出になるだろう。彼の夢は「ラフマンさんのようなハートフルな男になること」だそうだ。今までは1ヶ国でも多く違う国を見てみたいと思っていたが、初めて「またここを訪れるだろう」と私は予感した。



赤星 美佐子

シプラ(はず)の花が咲いていました

スタディツアーに出発する2日前、私は風邪をひいてベッドの中・・・しかし日本に戻ってきた時、体調は良好！既に次回の訪問の事を考えています。

たった2日間しか村を見て回れませんでした。何より子ども達のきれいな瞳と元気一杯の笑い声が私の宝物になりました。村を出発する朝、私は村人と別れたくなくて、まだまだ日本に帰りたくなくて泣いてしまいましたが、私にとってカラムディ村はもう1つの故郷です。今度は夏に“里帰り”したいと思っています。

河野 ひとみ

私が1番楽しみにしていたことは、子ども達の澄んだ瞳と、一面に広がる菜の花畑でした。実際に行ってみると子ども達はもちろん、村人の皆があたたかく優しく、自分自身いろいろと考えさせられました。村人の一生懸命に生きている姿を見て、私も負けてはいられない、1日1日を大切に生きていかなければならないと感じました。

こういう機会をつくってくれたラフマンさんをはじめ、会のみなさん、そして友人のかおりお姉さんに感謝します。ドンノバット(ありがとう)！！

木村 弥生

バングラティールは  
おもしろかったです



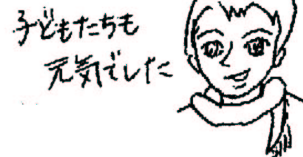
首都ダッカの喧騒を離れて、狂人的な運転の車に揺られること十時間、目的地のカラムディ村は牧歌的な自然の美しさと静寂に包まれていた。村ではどこへ行っても、子どもたちが集まってくる。人なつっこく無邪気な彼らのひとみは宝石のように輝いて見える。大人も若者も、みな親しみをこめた視線を向けてくる。これはこの村の人たちが素朴で純真だというだけでなく、手をつなぐ会の人たちがこれまでに培ってきた確かな実績の証左である。

だがこの国の経済発展につれて当然物価もあがり人件費もあがる。支援を続けるためには、むしろこれから大きな問題に直面してこよう。

坂田 卓雄

4度目の訪問は夏と違い過ごしやすく、一面の菜の花から始まりマフラーやセーター姿など村で初めて見る物も多く楽しい旅でした。子どもから大人まで心からの交流ができ、あたたかさに包まれてとても幸せな日々でした。夕空の下、輪になり村人と話しました。「お金をくださるだけでも建物はたったでしょう。しかしこのような心のつながりはそれからは生まれません。このようなつながりが私たちにとっては財産だと思う。もっと深く、永遠に続く事を願います。」

会の10年を振り返るようでした。



高橋 かおり

24日の早朝、宿舎の窓を開けると、母子保健センターの建物は、ミルクの様な朝もやにすっぽりと包まれていました。そのうち、昨夜シルエットで見た憧れの建物が徐々に姿を現し始めると胸の高鳴りを覚えました。私たちクラブの10年間の汗の結晶が、今ここでこんなに立派な姿となって、村人の中で生き生きと活動しているという喜びが体中に拡がりました。村に滞在した丸2日間、常にあたたかい村人と、目を輝かした子ども達に囲まれ人々のぬくもりが直に伝わってきました。

カラムディ村の皆さんドンノバット（ありがとう）！

八木 良子

長い長い旅路の後、待っていたのは、村の人々の温かい歓迎でした。来てよかったと心から思いました。村の人はみんな親切で、笑顔の素敵な人達でした。

村の看護婦さん達とも言葉の壁はあるものの、村での働きぶりを見たり、宿舎でたくさん話をしたりして、彼女達の医療に対する熱心な姿勢、前向きな生き方に感動しました。（かおりさんの通訳の力は大きかったです。）彼女たちを見て、今までなんとなく仕事をしていた自分を反省し、疲れた時は村の事を思い出して、看護婦としての自分を誇れるような仕事をしていきたいと思いました。



バレーボールを  
子どもたちとしました

山本 友美

～かおりの一言、言わせて～

- ◇毎度おなじみ、通称「怒りのラフマン」ここにあり。空港で、ダッカのホテルで、タイのドライバーに・・・ラフマンさんの教師という仕事は天職だ。
- ◇今回驚いたこと。みんなの食欲。
- ◇訪問団の、心配・期待を含んだ話題のNO. 1。それは・・・赤星さんの嫁入り騒動。
- ◇魅せられました。踊り、劇、スポーツ。私も芸を身につけなければ。

## § キャンペーンへご協力ください §

カラムディ村の支援を始めて10年。

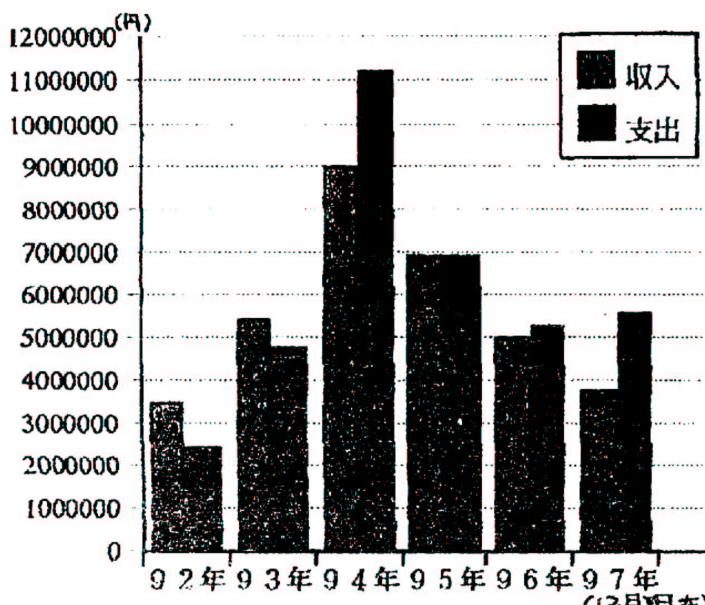
『洪水で流されない丈夫な学校を建てよう!』...この時から私たちは、心を一つにして動き始めました。それは物質的な援助に終るのではなく、お互いの国の文化を尊重し合いながら、バングラデシュの人々との交流を深めて、苦難や喜びを分かち合える友人となつてゆこう、という思いからでした。こうして現地と手をつなぐことが始まりました。

その後、毎年現地訪問を重ねてゆく中で、衛生問題や無医村状態のために幼い命が失われる実態を、なんとか救いたいとの願いから、母子保健センター建設の呼びかけをしました。これにも多くの方々や団体が答えてくださり、早くも実現しました。同時に現地では、都会の安定した病院を辞めて、ノルジャマン医師と3名のナースが赴任してくれました。

ノルジャマン医師は、片道20Kmのぬかるんだ道のりを、毎日バイクで頑張って通勤しています。母子保健センター横の宿舎に寝泊りしている3名のナースたちは、昼間の勤務に加えて週に2日の当直をしています。また保健センターの仕事のほかに、毎日一人ずつ交代で村を巡回し、衛生指導や乳児健診などもしています。さらに一ヵ月30件前後のお産の介助もあるので、貴重な休日も返上して仕事に付く事もしばしばだそうです。

お陰で村の意識も徐々に変化してきました。現在では分娩件数も増え続け、その他の受診者数も増加しているのは喜ばしい事ですが、貧しい人々に多くの診療費は請求できず、現地の自立した運営はまだ難しい状況です。

忙しいナースたちの、心と体の健康状態が心配になりながらも、現在の会の財力ではスタッフの増員ができません。それどころか、下のグラフからわかりますように、95年以降の収入が減少している状態で、この先赤字が続くと、保健センター運営費の支援さえも危ぶまれてきます。今までは93年度以前の繰越金で94年度以降の赤字の穴埋めをしきましたが、このままでは支援を継続できなくなる危機感とともに、今回の募金キャンペーンを繰り広げる事になりました。



幸いな事に建物などのハード面は順調に整いました。しかし中身の課題はまだ残っています。

会員の皆さんで、手をつないでくださる人々の輪を広げてください。

## お 礼

昨年の現地スタッフ招聘事業の際、シャハさんとベラさんは、中村理事長のご厚意で、英数学館西新寮に泊めて頂きました。西新の地下鉄の近くで交通の便も良く、ゆっくりと落ち着くことができました。食事も提供して頂き、また職員の方も親切に対応してくださり、本当にありがとうございました。ミロン読者の皆さんにお知らせすると共に、お礼が遅くなりましたことを紙面をお借りして、お詫びいたします。

### 宇美東小学校でバングラデシュの話をしました

12月6日、3時間もの貴重な時間をいただき話をしてきました。スライドを見てさまざまな思いがあったようで、活発に意見がでました。子ども達の目を見てみると、バングラの事を理解してくれる輪がさらに広がったような気がし、うれしく思いました。

子ども達の感想をそのまま以下に述べたいと思います。 (高橋)

- ・バングラデシュは日本とはぜんぜんちがう所だった。
- ・病院に行けない人は、行かせてあげたい。なんだかボランティアをしたくなった。
- ・むこうの人達の気持ちはわからないけど大きくなったら、私もふれあいをもちたい。私も看護婦になりたい。

### 使用済みのテレホンカードを換金してきました

みなさん、たくさんのテレホンカードありがとうございます。先日2回目の換金に行き1回目と合計すると、2万2千円を受け取りました。次回の換金は2月4日になります。それ以降はNTTの換金のシステムがなくなるかもしれないそうです。集められたら、ぜひ1月中に事務所までよろしく願います。 (担当 高橋)

## これまでのミロン印刷ありがとうございました。

ミロンは2ヶ月おきに毎号約1200部印刷しています。これまで「弘気塾」に印刷をお世話になっていました。このたびにのさかクリニックに印刷機を導入し、ミロンの印刷を受け持つことになりました。「弘気塾」の皆さん、長い間ありがとうございました。これからも手をつなぐ会へのご支援をお願いいたします。

## 御協力ありがとうございます

### 募金報告 (個人以外の方)

—敬称略—

福教大附属中学3年生	10,150	アンジェラス	951
国際ソロ <sup>o</sup> チミスト福岡東	30,000	ロバの会	30,000
にのさかクリニック	21,246	西南幼稚園	10,000
西南幼稚園「母の会」	12,063	茂呂塾保育園	30,000
久留米「友の会」	22,000	ベテスタ姉妹会	20,000
新津教会 婦人会	3,000	西南学院中学校	49,000

### 新入会員

立花 時子、 築地 安子、 鶴田 かず美、 中西 春美、 池田 愛美

### ◎係からのお願い

- 今年度の募金目標280万円のうち5.0%の140万円しか達成出来ていません。やむなく前年度の繰越金で補っていますので目標達成に御協力下さい。
- 郵便振替で御送金の際、「住所」のみで「お名前」の記入がなされていない方が多いようです。「住所」「お名前」は必ず御記入下さるよう御注意下さい。



### 紅茶販売のお礼

バン格拉の紅茶を各地のバザーなどで販売して頂いています。おかげさまで好評です。

以下のバザーなどで紅茶を販売して頂きました。ありがとうございます。

ひかり幼稚園バザー 30個

西南大学神学部バザー 20個

三共製菓 100個

4月には手をつなぐ会の総会がひらかれます。  
多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

## お知らせとお願いコーナー

3月29日(日)西新商店街において、手をつなく会恒例のチャリティバザーを開きます。年末年始の到来ものなど不要品がございましたら、西新事務所またはのさかクリニックまでお持ちください。持ち込みのできない方はお電話くだされば、こちらから取りにまいります。

事務所 Tel:092(844)1369    のさかクリニック Tel:092(872)1136

なお、古着は処分に困りますので、新品または新品同様の品物のみをお願いいたします。

### 1月～3月の行事予定

(未定・変更される場合があります。ご確認ください。)

月 日	時刻・時間	内 容	場 所
1月25日(日)	10時～17時	NGO 列島縦断フォーラム	アクロス福岡 国際会議場他
2月 5日(金)	19時～	10年委員会	西新事務所
2月11日(木)	14時～17時	スタディツアー報告会	アクロス福岡3F こくさいひろば
19日(金)	19時～	運営委員会	西新事務所
3月5日(木) 6日(金)	14時～	ミロン発送作業	西新事務所
19日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所
26日(木)	14時～	バザー用品値段付け、物品整理	西新事務所
28日(土)	14時～	バザー準備	西新事務所
3月29日(日)	13時～16時	チャリティバザー	西新商店街

# 頌 春



### ハングラテシュと手をつなく会

〒814 福岡市早良区西新5-4-20

TEL&FAX 092-844-1369

代 表 大木松子

郵便振込 01720-2-10442

加入者名 ハングラテシュと手をつなく会